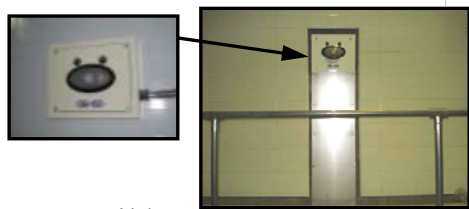


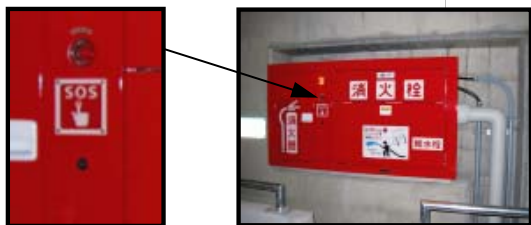
事故発生時前後の状況について

笹子トンネル設備配置全体図

		上り線	
A	非常電話機	25台	
B	押しボタン式通報装置	126台	
C	火災検知器	218台	
D	非常警報装置	D型情報板	1面
E	非常警報装置	E型情報板	4面
F	消火栓・消火器	101台	
G	換気所	2箇所	
H	避難連絡坑	8箇所	
I	水噴霧設備	全線	
J	送気口	全線	
K	排気口	全線	
L	トンネル照明	全線	
M	CCTV	35台	
N	拡声放送設備	全線	
O	非常駐車帯	4箇所	
P	送水管	全線	



C : 火災検知器
走行車線側壁面に設置(約25m毎)

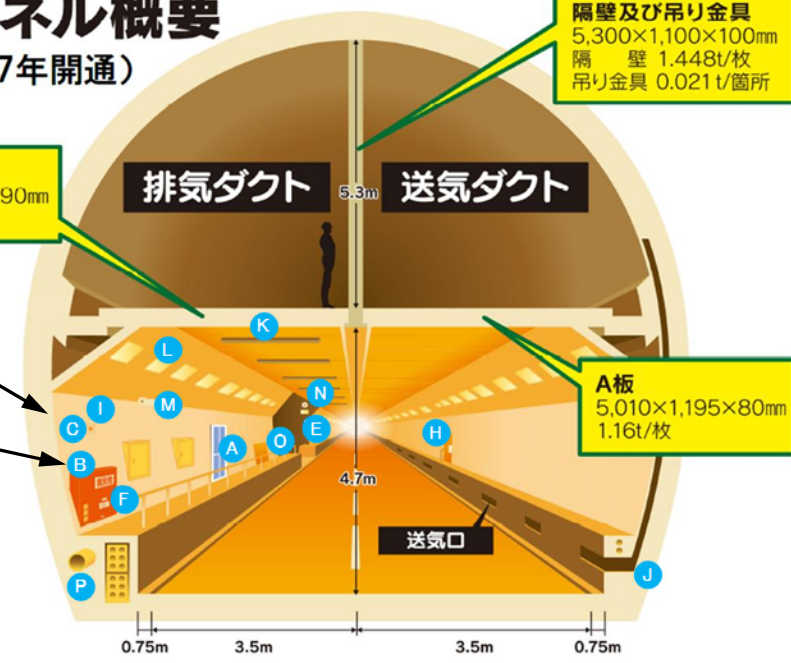


B: 押しボタン式通報装置
消火栓(F:約50m毎)および
非常電話ボックス内(A:約200m毎)に設置

笹子トンネル概要 (上り線 1977年開通)

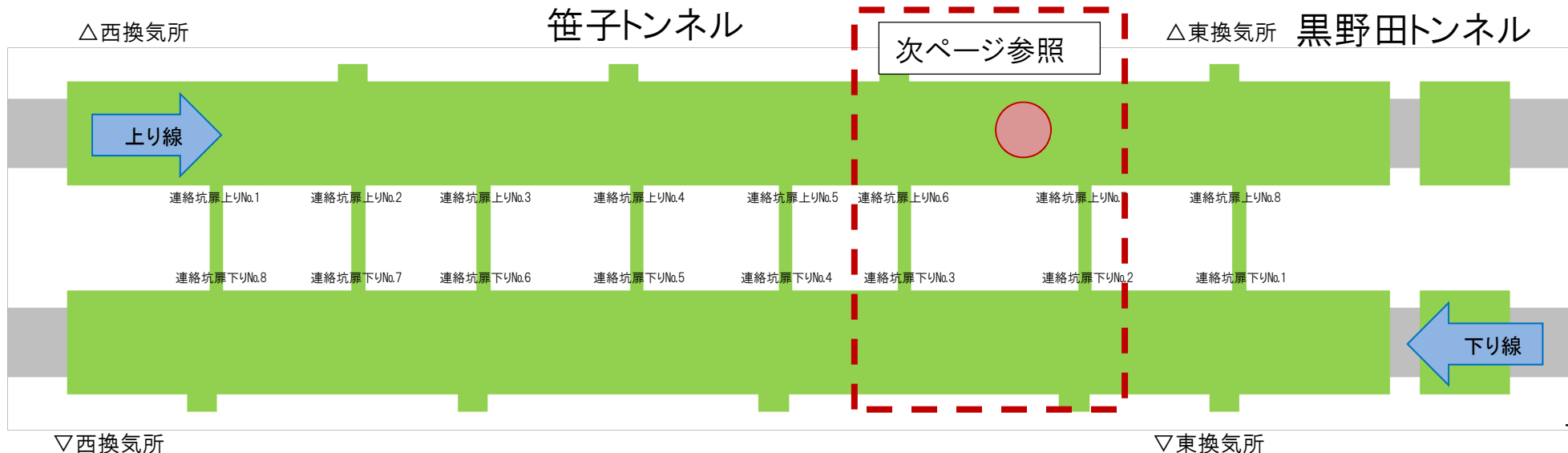
B板
5,010×1,195×90mm
1.385t/枚

隔壁及び吊り金具
5,300×1,100×100mm
隔壁 1.448t/枚
吊り金具 0.021t/箇所



A板
5,010×1,195×80mm
1.16t/枚

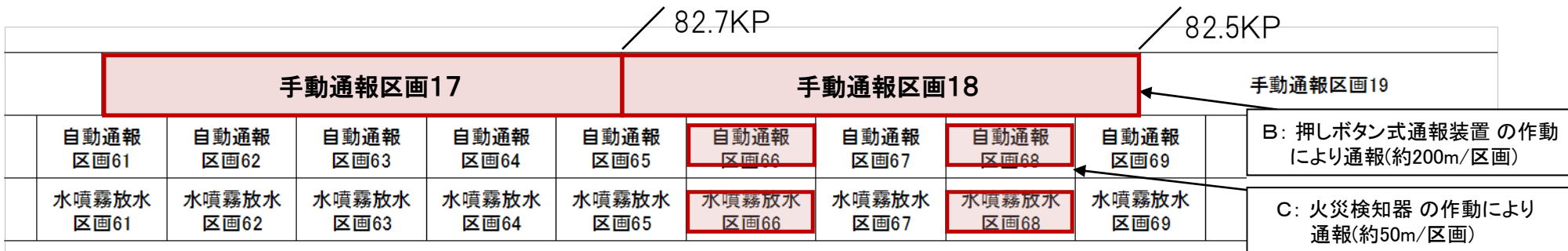
笹子トンネル



▽西換気所

▽東換気所

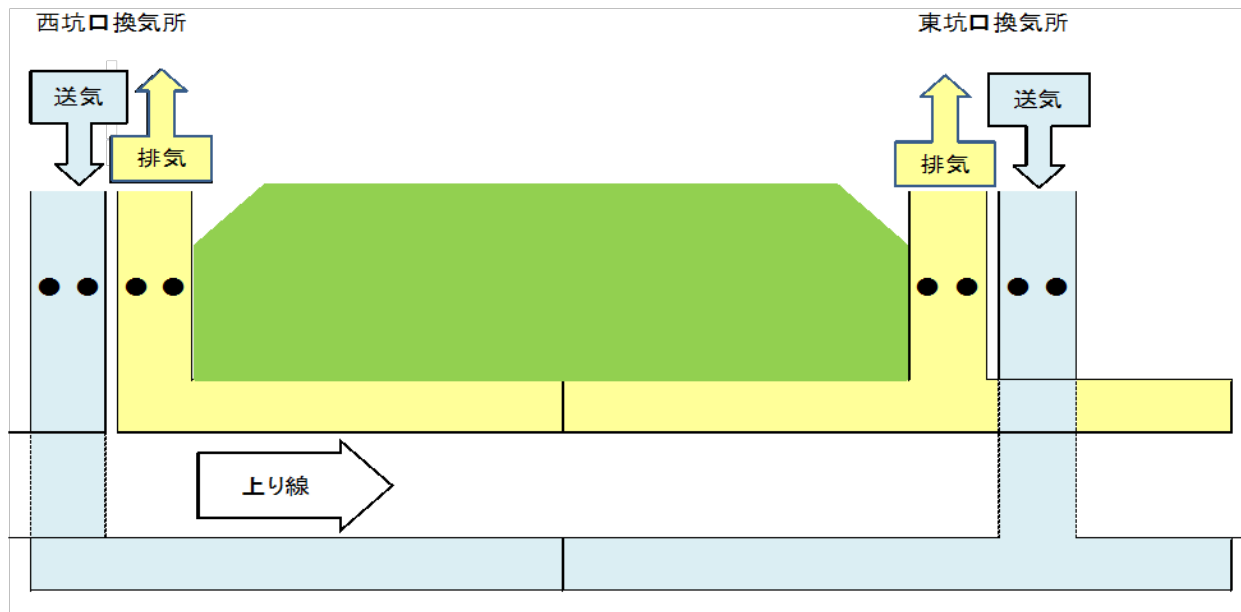
笹子トンネル火災通報区画・放水区画位置図



動作内容	備考
① 押しボタン式通報装置作動 (手動通報区画18)	区画内の消火栓または非常電話ボックス内に装備されている押しボタン式通報装置が作動し、火災を通報
② 押しボタン式通報装置作動 (手動通報区画17)	
③ 火災検知器作動 (自動通報区画66)	区画内の走行車線側壁面に設置されている火災検知器が作動し、火災を通報
④ 水噴霧放水区画66 放水	火災発生場所の水噴霧放水開始
⑤ 火災検知器作動 (自動通報区画68)	区画内の走行車線側壁面に設置されている火災検知器が作動し、火災を通報
⑥ 水噴霧放水区画68 放水	火災発生場所の水噴霧放水開始
⑦ 水噴霧放水停止	現場からの要請により放水を停止

笹子トンネル換気設備運転状況

【火災検知前の運転状況】

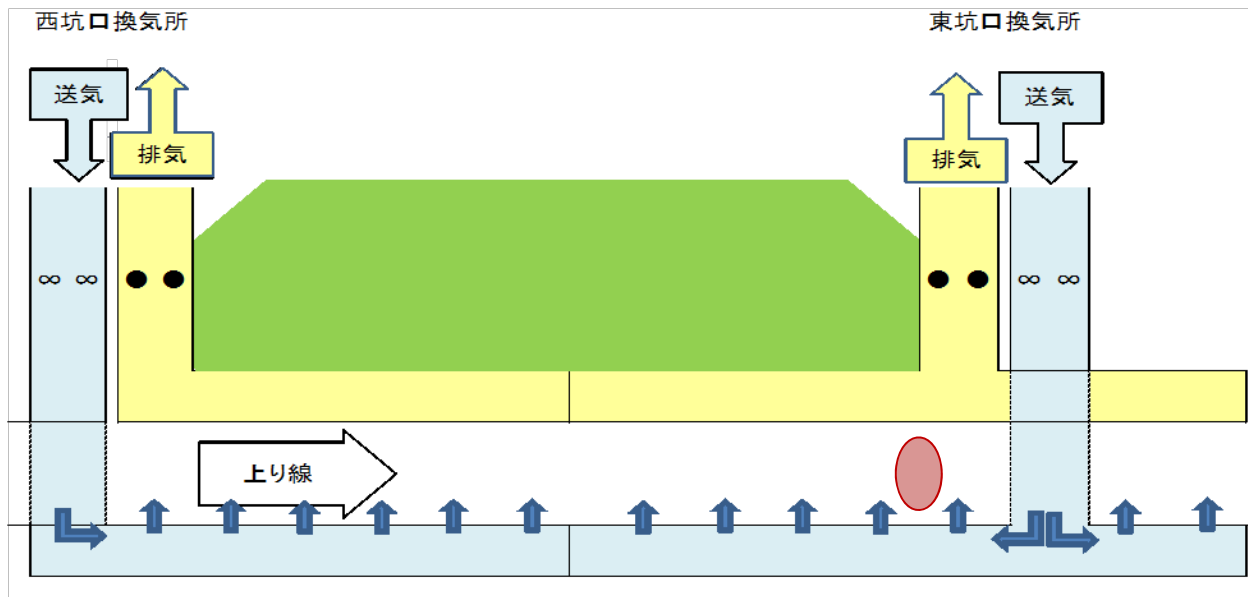


凡例

∞ : 運転
●● : 停止

・ 落下事故時は全て停止していた

【火災検知後の運転状況】



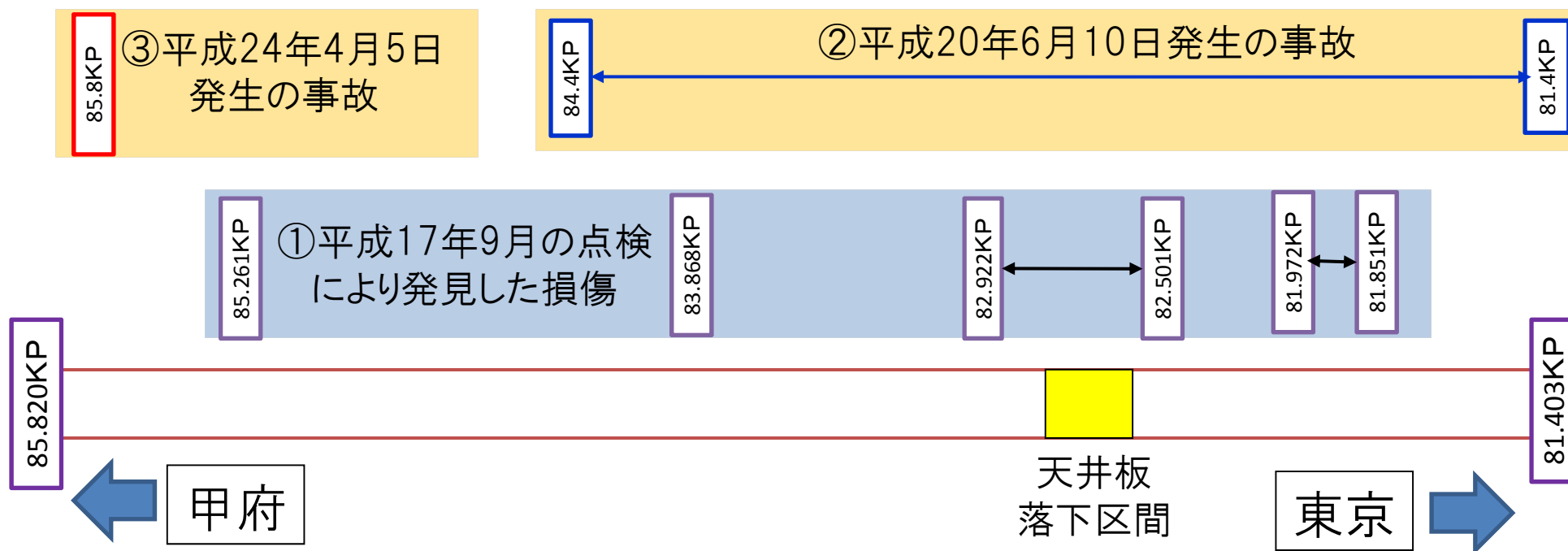
・ 火災検知により、東・西換気所において送風機運転開始
(開始 8:03~停止 15:11)

・ 火災検知がトンネル出口寄りのため、排風機は停止

・ 火災検知場所に対応する運転モードが予め設定されている

天井板の車両などによる損傷

■ 落下事故時において、直接的な原因となる事象発生的事实は確認されていない(道路管制センターへのヒアリング結果)が、過去に事故事例は数件あり



天井板の車両などによる損傷

①点検による天井板損傷の確認(点検日時:平成17年9月26日～28日)

KP	箇所数	概要
82.922～82.501	42箇所	走行車線天井板に車両の接触による擦禍痕または剥落(一部剥離片が残存)
81.972～81.851	5箇所	
83.868	1箇所	
85.261	1箇所	



天井板の擦禍痕

■点検結果を受けた補修

指 示 日:平成17年9月29日 指図書 No.629

実 施 日:平成17年9月29日～平成17年9月30日

実施内容:上り線 笹子トンネル内 天井板(走行車線上)の剥離箇所のたたき落とし

過去の天井板損傷事例

事故事例②

■ 発生日時	平成20年6月10日(火) 11時55分頃
■ 発生場所	上り84.4kp～81.4kp付近
■ 事故概要	大型貨物車に普通貨物車(コンテナ型)を積載し高さオーバーで進入した為、トンネル天井に接触した。(上り線84.4kp～81.4kp間の天井に擦過痕有り。道路損傷事故扱い。)(高さ4.95m)



事故事例③

■ 発生日時	平成24年4月5日(木) 11時40分頃
■ 発生場所	上り85.8kp付近
■ 事故概要	上り笹子トンネルへ流入する際、自車がバウンドし、積荷の車両が跳ねてトンネル内の天井に接触した(上り85.9kp～85.8kp天井部接触痕のみ。道路損傷事故に至らず物損扱い。)(高さ約4.5m)

